



経理
ご担当

システム
ご担当

の皆さま



振込が便利になります!

2018年12月(予定)から、総合振込において、さまざまな情報(支払通知番号、請求書番号など)を受取企業に送ることが可能になります!
そのお手伝いをするのが「全銀EDIシステム(Zengin EDI system)」(愛称: ZEDI(ゼディ))です。

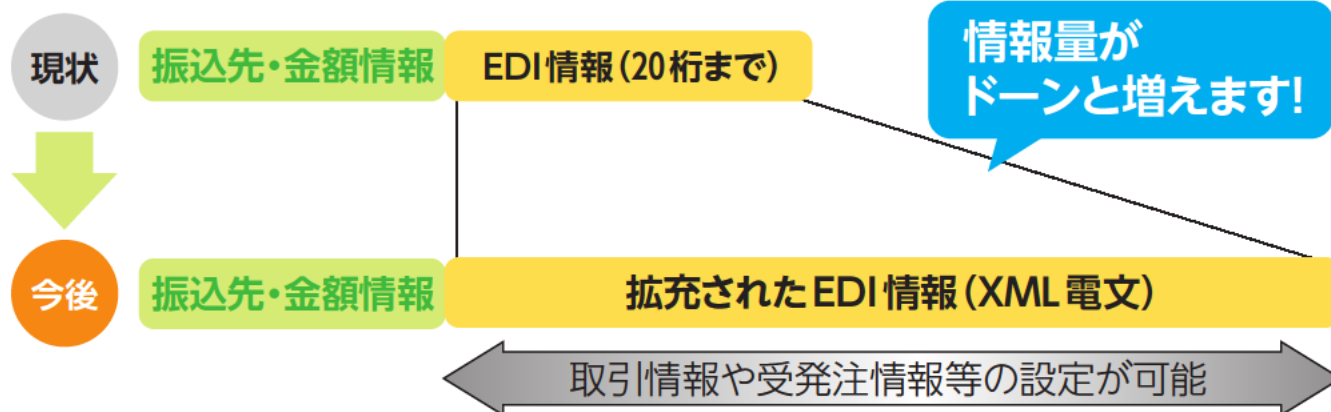


振込がどう便利になるの?

振込の際に送信できる情報量が増えるのよ



総合振込の際にお使いのフォーマットに設定可能な情報が拡充します



EDI 情報: 支払企業から受取企業に伝達するメッセージ。支払企業側が設定
XML 電文: 電文の長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文方式

〈全銀EDIシステム構築の背景〉

未来投資戦略 2017

金融EDIの活用を起点とした「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」※により、財務・決済プロセス全体の一括した高度化を図る。

※「金融EDIの推進等による金・商流連携の推進」の中で、金融機関におけるXML電文化について、2018年中のXML新システム稼働等に着実に取り組むとされている

どのように便利になるのか? お客様がご利用された場合のメリットは? 裏面をご覧ください。

情報の拡充により、経理関係事務を効率化

お金を受け取る企業(受取企業)

現状

売掛金と入金額が合わない!

請求書から差額の原因を調べないと...

金額と一緒にその内容が分かる情報があればなあ

特定できなければ、支払企業に問合せ



消込業務に膨大な時間とコストが...

今後

EDI情報が拡充されたおかげで、売掛金と入金額の照合が楽になったよ

売掛金一覧

照合

振込先・金額情報

EDI情報(取引情報等)

売掛金の消込作業※が効率化

※消込の自動化には、会計ソフト等の導入が必要となります。

お金を振り込む企業(支払企業)

問合せで大変だ!



振込先企業からの問合せ対応が大変!

業務に集中できるようになってよかった



問合せへの対応負担が軽減

受取企業と支払企業の双方において、生産性向上や人手不足解消につながります。

将来的なEDI情報の活用策

アイデア1 電子領収書としての利用

電子領収書のメリット

支払企業

- ▶ 領収書の保管コストの削減
- ▶ 領収書の管理負担の軽減

受取企業

- ▶ 印紙税が不要
- ▶ 領収書作成・郵送コストの削減

アイデア2 取引金融機関による新たなサービスの提供

想定事例1

コンサルタント機能や提案活動

想定事例2

ビジネスの将来予測や業界動向の分析

想定事例3

取引情報分析による小口融資等

ZEDIを利用するには...

現在の振込方法

ATM、銀行窓口、ファクシミリ

ファームバンキング、インターネットバンキング

ファームバンキング、インターネットバンキングへの加入

利用に必要な対応

ソフトウェアのバージョンアップ等

ZEDIに対応したファームバンキング、インターネットバンキング

もっと詳しく知りたい場合はWebで

<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>

全銀EDIシステム

検索



全国銀行協会では、その他にも振込時間拡大(全銀システムの24時間365日稼働化。2018年10月予定)などの決済高度化に向けた取組みを進めています。

詳細は、取引金融機関に直接お問合せください。